

会 議 録

1 会議名

第1回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

(1) 平成29年度地域活動支援事業審日程等について

(2) 自主的審議事項について

・その他（公開）

3 開催日時

平成29年4月27日（木）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：石田浩二、梅木英亮、金澤幸彦、君波豊、後藤紀一、小山茂、佐藤忠治、佐藤博之、新保正雄、内藤恒、中嶋浩、細井義久、柳澤周治、山田幸作、山本宏（16人中15人出席）

・事務局：鍵田大潟区総合事務所長、熊木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、道場市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、朝日総務・地域振興グループ班長、佐藤総務・地域振興グループ主任

（以下、グループ長はG長と表記する）

8 発言の内容（要旨）

【熊木次長】

・会議の開会を宣言

・上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

・挨拶

【鍵田所長】

・挨拶

【佐藤忠治会長】

・会議録の確認：山田幸作委員に依頼

【佐藤忠治会長】

それでは、4. 協議事項（1）平成29年度地域活動支援事業審査日程等について、総合事務所に説明を求める。

【佐藤主任】

（資料No.1に基づき説明）

【佐藤忠治会長】

質問や意見はないか。

いずれの会議も開始時間は、午後6時30分からである。

現時点での、地域活動支援事業提案件数は5件で、金額は5,751千円である。

【内藤恒委員】

去年は2次募集となったが、そういった場合の見込みはいつごろになるか。

【佐藤忠治会長】

締め切り後である。今のところ他にも相談が来ているが、配分額が余れば2次募集するか決めていく。柿崎区は、もう締め切って配分額が埋まったとのことである。

【君波豊副会長】

平成28年度の成果報告会で、完了していない案件が3件ほどあったが、その後はどうなったか。成果報告会の資料を完成形として残してほしい。

【佐藤忠治会長】

最後の、潟町町内会の看板設置は3月31日に完成した。要望事項として成果報告会の資料に3件を加えて完成形をお願いしたいということである。

その他はないか。

（発言なし）

【佐藤忠治会長】

それでは、今年度の地域活動支援事業の審査日程等は、案のとおりとして進めていくがよろしいか。

(一同了承)

それでは、資料No.1 (案) のとおりとする。

次に(2) 自主的審議事項「大潟区の魅力発見・発信について」協議する。今後の進め方について、勉強会で意見を整理して検討委員会を立ち上げることにした。会長、副会長で検討した結果、検討委員を5名の委員にお願いする。金澤幸彦委員、後藤紀一委員、佐藤博之委員、中嶋浩委員、柳澤周治委員にお願いしたところ、快く引き受けていただいた。会長、副会長を含め7名で検討委員会を立ち上げるが、よろしいか。

(一同了承)

【佐藤忠治会長】

よろしくお願ひしたい。第1回検討委員会の日程は、後日協議し決めていく。

小学生がかかるたを作製し、中学生がポスターやはがきを作製するなど大潟の魅力の発信が活発になされている。地域協議会として何が出来て、どういうスケジュールで何かからするか等々、具体的に協議して地域協議会へ示していきたい。この件について意見や要望等はないか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

地域活動支援事業を使ってこういった活動を行っているところもある。名立区では3年前から行っている。頸城区でも振興会でパンフレットなどを作っている。高土区でも郷土食を写真に撮り、パンフレットを作製している。そういった、他の区の活動も事務局から調べていただき参考にしていきたい。この件については、どうか。

【後藤紀一委員】

平成14～16年頃に、大潟町でそういった冊子をたくさん作ったが、合併後は一切なくなった。また、見直していくということであるが、取組の姿勢はこれで良いのか。もう少し行政の方で頑張ってもらわないと、地域協議会の課題だけとするのはどうなのかと感ずる。行政の方で準備しているというものがあれば教えていただきたい。

【佐藤忠治会長】

どうであるか。

【熊木次長】

知る限りではない。柿崎区の担当の産業グループと連携を図っていきたい。

【後藤紀一委員】

せっかく観光庁の指定がありながら、どうなっているのかわからない。できるだけ情報は入れていただきたい。最近はそういった情報が入りにくくなっている。例えば、体育館の向うに何か整備しているが、いったい何が出来るのかわからない。民間の動きも含めて、地域協議会にはできるだけ報告していただきたい。

【熊木次長】

来年度が鵜の浜温泉の開湯60周年となる。鵜の浜温泉観光組合がイベントを計画しているという話も聞いているが、詳細についてはまだ把握していない。

【鍵田所長】

今ほどの情報提供の件であるが、確かなことが決まらない段階では伝えることができない。私どもは、皆さんに情報提供を行うというスタンスであるので、ご理解いただきたい。

【佐藤忠治会長】

創造行政研究所で聞いた話は、現在の上越市は縦割りで総合事務所に情報が入っている。文化・教育関係や地域振興などを、ひとまとめにして地域振興策を練れるか検討しているということであった。どこかモデル地域を作ってやっていきたいとのことであり、大潟区をモデル地域としてもらえればありがたいと話をした。そういった動きもある。

【内藤恒委員】

うみてらす名立が道の駅となっているが、大型バスの駐車場に大型の広域観光看板が設置されている。大潟区内で大型看板を、市独自で作成するのはなかなか難しいと思うが、県と連携し大潟パーキングなどに観光看板を設置できないか。

人魚館の脇に、相当古い看板があるが更新できないか。今、観光は広域で考えなければならぬのではないかと。

【佐藤忠治会長】

貴重な意見をいただいた。

【君波豊副会長】

今の話に関連するが、佐渡の金銀山の世界遺産の登録に関して、上越市をライン化して観光ルートとしたいということは、先程の所長の話である程度理解した。

大型観光看板であるが、新市建設計画に盛り込まれている。したがって、今我々がやっていることがまとまり、予算が必要ということであればこれに乗っていければよいのではないか。

犀潟駅には、大潟の観光ポスターを貼っていない。市からJRに依頼し、そういったコーナーを作ってもらえるのはどうか。乗降客は結構いるので、目につくのではないか。また、渋柿浜のパーキングのフェンスが空いているが、そこに看板を作ってはどうかという話を以前した覚えがある。これから、皆さんの中から提案が出てきて、一つ一つ具現化していけばよいのではないか。

【佐藤忠治会長】

その他にはないか。今の意見を含めて、検討委員会の中で協議していく。なければ協議事項をこれで終了する。次に、5その他に移るが、事務局から連絡事項等はあるか。

【熊木次長】

大潟区ネットワークづくり会議の資料を、本日配布する。

(資料に基づき説明)

【佐藤忠治会長】

今の説明について質問はあるか。

【柳澤周治委員】

会議結果概要の中で、農業団体の参加がないという発言があったが、今後の在り方の中でそういった議論はあったか。

【熊木次長】

商工会からそういった話があった。ただそういった意見があっただけであり、今後の話の中で議論していく。近いうちに話し合いを設ける予定である。

【佐藤忠治会長】

今後3団体で会議を設ける予定である。町内会長協議会、まちづくり大潟と地域協議会で5月中に会議を開催できるよう調整している。

【柳澤周治委員】

2点ほど現在の状況をお聞きしたい。1点目は、大潟体操アリーナの建設予定地であるが、未だ決定報告がないが依然として公表できる状態ではないのか。

2点目は九戸浜の福祉センターの在り方についてだが、平成29年度廃止という前提ではなく、平成29年度までに、方向性について見直しをするということであった。どういう方向に行くのか議論なり、結論が出ているのか知りたい。福祉センターについては年間の利用者数はかなりあり、健康診査の会場等にも使われているため、廃止となれば市民の暮らしに影響がある。設置をしている大潟区の検討状況を知りたい。

【熊木次長】

体操アリーナについてはまだ公表できる段階ではないが、近々公表できるのではないのか。体育課で最終的に詰めている。

【鍵田所長】

補足であるが、土地の取得ということで地権者との交渉に時間がかかっている。そう遠くない段階で話ができる。福祉センターについては、譲渡先を探しているがまだ見つからない状況である。

【道場G長】

老人福祉センターの件であるが、行政改革推進課で公の施設の再配置ということで平成30年度を目安としているが、譲渡先、代替施設を検討している。柳澤委員が言われる通り、健診や選挙の投票所で使用しており、代替施設が見つからず、苦慮している。

【柳澤周治委員】

今の話であると、廃止を前提としていると感じるがそうではないのではないのか。

【道場G長】

地元との話が付かないうちは廃止ということはない。行政改革推進課も地元の了解を得たうえでということである。地元の説明をして納得した上でということであり、了解がなく廃止ということはない。

【柳澤周治委員】

それを平成29年度中に出すということか。

【道場G長】

当初の行政改革推進課の、公の施設の再配置計画では平成30年度を期限としている

が、理解が得られなければ廃止は延期となる。

【柳澤周治委員】

了解した。

【佐藤忠治会長】

その他であるが、平成29年度の地域協議会だより編集委員については、後藤紀一委員、小山茂委員、佐藤博之委員、君波豊副会長の4名にお願いしたいがよろしいか。

(一同了承)

【佐藤忠治会長】

4名の編集委員の皆さん、よろしく願います。

他に皆さんから意見などはないか。

【中嶋浩委員】

先日、大潟の体育館を卓球で使用したところ雨漏りしていたが、行革の流れの中ではどういうことになっているのかは掴んではない。「スポーツのまち」を標榜する上越市が今後どうなるのかと思いながら状況をみている。

各区に体育館があるというのは、財政的には無理があるのかと関心を持ちながら、そういったことについて早く情報を得て、自主的審議事項として協議していくのが重要ではないかと感じる。今、どうこうというのではなく現状として報告する。

【鍵田所長】

体育センターの雨漏りについては、私も現状を確認したが、どういう修繕方法が考えられるか。また、経費はいくらかかるかということを確認、検討中である。

【佐藤忠治会長】

体育センターの雨漏りは、何回も修理したのではないか。

【鍵田所長】

別の箇所である。

【柳澤周治委員】

所長裁量の緊急対応修繕が予算で認められていると思うが、今年度はいくらか。また、平成28年度についての状況をお聞きしたい。

【鍵田所長】

緊急修繕については100万である。実績については手元に資料がないが、そこまで

の金額は使われていない。どうしても予算措置ができない緊急的な事案で使うものである。

【柳澤周治委員】

総額で100万円ということか。

【鍵田所長】

総額である。

【柳澤周治委員】

少なすぎるのではないか。

【細井義久委員】

夜間に、学校開放で小学校の第2体育館を使用しているが、照明が15個あるうち5個がつかない。電気料を負担しているのに、直してもらえないのかと言われている。

【道場G長】

前回お聞きして、担当の教育総務課に要望している。市内小・中学校体育館のうちいくつかは、照明などの修繕が必要なところがあり、照明がつかない割合に応じて順次修繕を行っていくということであった。引き続き要望していく。

【細井義久委員】

了解した。使用に応じて電気料を支払っているのに、なぜかという話であった。

【佐藤忠治会長】

他に意見や質問はないか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

それでは、今後の協議会の日程について事務局から説明をする。

【熊木次長】

今後の日程であるが、第2回勉強会を5月18日(木)午後6時30分から開催したい。第2回地域協議会は、6月1日(木)午後6時30分から開催したい。

【佐藤忠治会長】

この件について、意見などはないか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

なければ終わりにする。

【君波豊副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線 201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。